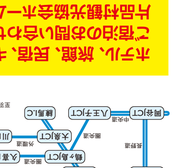
かたしな
ガイドマップ
KATASHINA GUIDE MAP



名水、食、花、温泉など
かたしなを巡ろう。
Let's Trekking
尾瀬国立公園・日光国立公園
日本百名山 至仏山、燧ヶ岳、武尊山、日光白根山
知っておきたい！トレッキングを楽しむために

立ち寄らずして尾瀬かたしなの旅はじまりません

道の駅 尾瀬かたしな

国道120号沿い沢入駐車場の隣にある駐車場。尾瀬国立公園「尾瀬かたしなビジターセンター」や水辺を観察できる展望デッキ、ビジターセンターと連絡する遊歩道があります。さらに奥鬼怒園地登山口へ車で約10分。

〒321-2604 栃木県日光市藤原1113
TEL.0278-20-7111
FAX.0278-58-4433

トレッキングを楽しむために

片品のトレッキング・山登りを楽しむための装備品

片品村は、尾瀬国立公園や日光国立公園をはじめ、武尊山や日光白根山、至仏山といった百名山など、大自然を満喫できる多彩な山岳コースが豊富にあります。
入山の際は、体力や行動にあわせた計画を立て、適切な装備を準備して、登山やトレッキングをお楽しみください。
また、登山口での登山計画書を提出することも忘れずにお願いいたします。

レインウェア
山の天気は変わりやすいものです。急な雨や風などの悪天候から、体温の低下を防いでくれるレインウェア。登山スタートのタイミングで天候が良くても必ず持参しましょう。

防寒ウェア
山では日中と朝晩の気温の差があります。そんな時に体を温めてくれる防寒具は必須です。軽量で嵩がく、コンパクトになるダウンジャケット等がお勧めです。

ゲイター
登山道のぬかるんだ場所や、朝晩の露で足元の草が滑りやすい場合でも、レイン用のゲイターを装着すれば、泥はねや靴の中への浸水をガード、マストアイテムです。

その他、携行品
登山をするための地図・ガイドブック・コンパス、紫外線から肌や目を守る日焼け止め、サングラス、また、日帰りでもヘッドライトは忘れずに用意しておきましょう。

ボール
急な斜面での転倒防止や、登山や下山中の膝や足の筋肉への負荷軽減に役立つ心強い味方です。尾瀬の木道では、ボールの先端にゴムキャップを装着した上でご使用ください。

ザック
日帰りや山小屋泊など、行程に合わせた使い勝手のよいザックを選ぶことが大切です。携行する荷物は出来るだけ少なく、またはコンパクトにすることがポイントです。容量に少し余裕のあるザックを選ぶようにしましょう。

帽子
登山はもちろんトレッキングにも欠かせない必需品。季節に合わせて日よけタイプや防寒タイプを用意して、気温や日差しから頭部を保護しましょう。

水筒
保冷や保温、折りたたみなど、様々なタイプがあります。朝晩の気温低下や雨風等の急な天候悪化でも、体温の低下を防げる保温タイプの水筒は重宝します。

シャツ・パンツ
シャツは長袖が基本ですが、季節に応じてアンダーウェアやTシャツ等で調整をしてください。パンツは伸縮性のあるストレッチ素材のものが快適です。シャツもパンツも、汗で体を冷やすことを防いでくれる速乾性タイプがお勧めです。

登山靴
登山やトレッキングでは、コースに合わせた登山靴を選ぶことが大切です。ある程度の高低差がある場合、転んだり足を痛めることもあります。ハイカットタイプで足首をしっかりと保護してくれるシューズがお勧めです。

＼装備は万全ですか？／
出発前最終チェックリスト

- □ ザック
- □ ポール
- □ 登山靴
- □ 靴下（替えの靴下）
- □ アンダーウェア（替えのアンダーウェア）
- □ シャツ・パンツ
- □ 帽子
- □ レインウェア
- □ 防寒ウェア
- □ 手袋
- □ タオル／手ぬぐい
- □ 水筒・保温ポット
- □ 行動食
- □ ヘッドランプ（予備電池）
- □ 地図・ガイドブック
- □ コンパス
- □ サングラス
- □ 日焼け止め
- □ 財布／保険証
- □ ファーストエイドキット
- □ 熊よけ鈴
- □ 腕時計
- □ 登山計画書
- □ 携帯電話

※(注意)季節により、登山やトレッキング等の装備・携行品は異なります。
事前にアウトドア店などへ相談し、必要な持ち物を確認され、安全な登山を行ってください。

山を訪れる人のための注意事項

ゴミは持ち帰る
山ではゴミのポイ捨て、放置が規制されています。山にはゴミ箱はありませんので、自宅まで持ち帰りましょう。

ペットは持ち込まない
生息する野生動物への脅威となったり、伝染病などを伝搬する恐れがあります。また、他の利用者の迷惑にもなります。

焚き火は禁止
焚き火は禁止で、コンロなども安全で迷惑にならない場所で使用しましょう。

動植物は採取しない
自然の生態系を維持し、自然景観を保っていくために、動物を捕まえたり、植物を採取することは法律で禁止されています。また、落ちている枝を杖代わりにしたり、落ち葉を拾うこともやめましょう。

登山には携帯トイレを携行しましょう
山岳コースにはトイレがない場所もありますので、店舗などで販売している携帯トイレを事前に購入し、携行しましょう。

お金は投げ入れない
池や川にコインを投げ入れることは自然にとって迷惑でしかありません。せっかくの厚意は募金箱にお願いします。

ストックにはキャップを付けましょう
登山道や木道を傷めないようにストックにはストックキャップを付けましょう。

キャンプ場は指定されています
キャンプ場は指定されていますので、指定地以外での幕営は禁止です。

木道や登山道から外れない・走らない
木道や登山道から外れて湿原や登山道脇の植生に立ち入らないようにしましょう。

更に尾瀬では下記のことにも注意しましょう。

公衆トイレを正しく利用しましょう
山岳トイレの維持管理には大変な労力がかかるので、備え付けのトイレットペーパーを使用し、後に使う人のためにきれいに利用しましょう。費用の一部を利用者に負担してもらうため、トイレ入り口に募金箱がありますのでご協力ください。

湿原には立ち入らない
湿原保護のため、木道から外れ湿原に立ち入ることはもちろん、写真撮影時に湿原に三脚を立てたり、木道や休憩所に座って、足を湿原に置くことはやめましょう。

移入植物の侵入を防ぐ
入山口にある種子を落とすためのマットで靴底の泥を落とし、移入植物の侵入を防ぎましょう。湿原に移入植物が侵入すると、本来湿原に生育する植物が脅かされます。

各種お問い合わせ先

尾瀬マイカー規制についてのお問い合わせ先
■群馬県側
片品村尾瀬交通対策連絡協議会……0278-58-2112
（事務局:片品村むらづくり観光課）
群馬県自然環境課尾瀬保全推進室……027-226-2881
■福島県側
福島県尾瀬自動車利用適正化連絡協議会……0241-75-2500
（事務局:檜枝岐村総務課）
福島県南会津地方振興局県民環境課……0241-62-2061

尾瀬全般についてのお問い合わせ先
■（公財）尾瀬保護財団……027-220-4431
https://www.oze-fnd.or.jp/ ▶▶▶

尾瀬、武尊山、日光白根山に関するお問い合わせ先
片品村むらづくり観光課……0278-58-2112
片品村観光協会……0278-58-3222

駐車場についてのお問い合わせ先
尾瀬戸倉観光協会（尾瀬第一・尾瀬第二）……0278-58-7263
尾瀬高原ホテル（スノーパーク尾瀬戸倉）……0278-58-7511
東京パワーテクノロジー（株）尾瀬林業事業所（鳩待峠・大清水・富士見下）……0278-58-7311
尾瀬御池ロッジ（御池・七入）……080-2844-8873

尾瀬の代替輸送・入山口周辺の交通についてのお問い合わせ先
■鳩待峠、大清水方面（群馬県側）
関越交通㈱沼田営業所……0278-23-1111
尾瀬観光タクシー㈲……0278-58-3152
丸沼タクシー……0278-22-4018
㈱老神観光バス……0278-56-3222
片品観光タクシー㈲……0278-58-2041
■沼山峠・御池方面（福島県側）
会津乗合自動車㈱ 田島営業所……0241-62-0134
■小沢平・奥只見湖方面（新潟県側）
魚沼市観光協会……025-792-7300

本州最大級の高層湿原

尾瀬トレッキングマップ

2,228 至仏山　2,356 燧ヶ岳

Oze Trekking Map

忘れられない風景がある

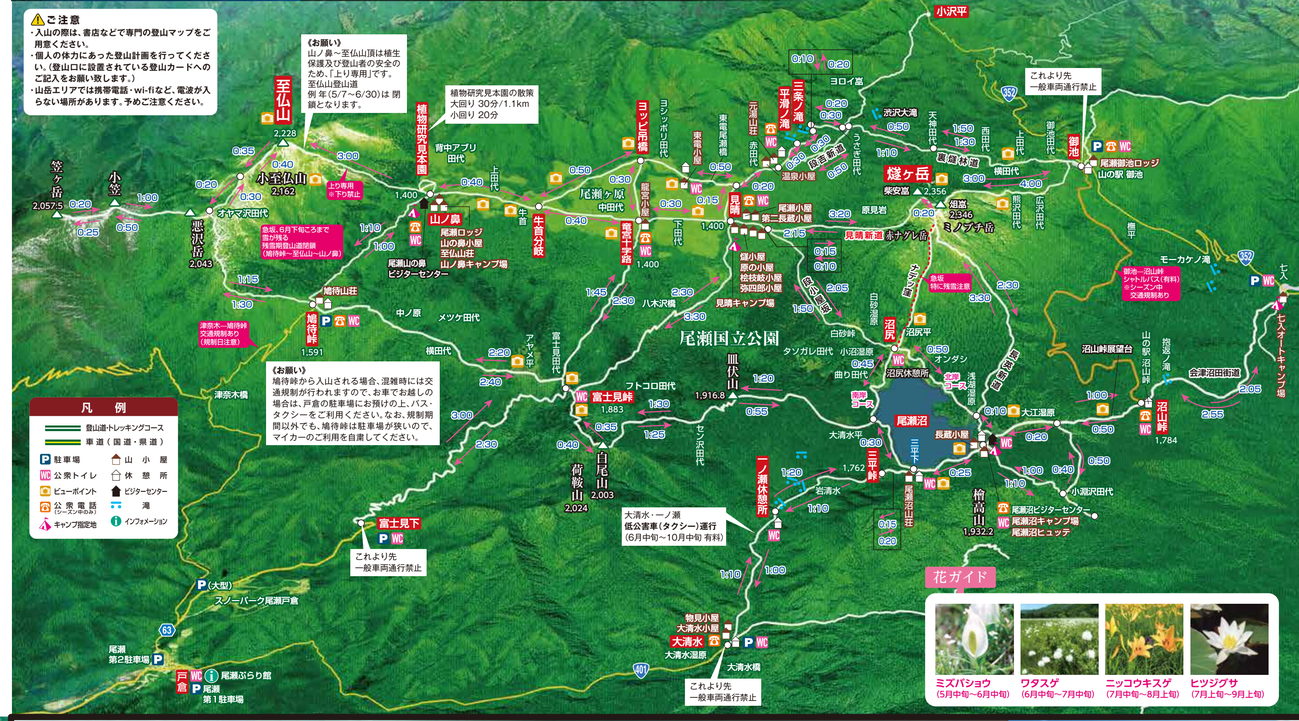
南北2km、東西6kmにもおよぶ本州最大級の湿原。
日本百名山の至仏山と燧ヶ岳の2つの山に囲まれた広大な湿原では、名曲「夏の思い出」に歌われたミズバショウ、鮮やかな黄色い花で湿原を埋め尽くすニッコウキスゲといった美しい高山植物が楽しめます。

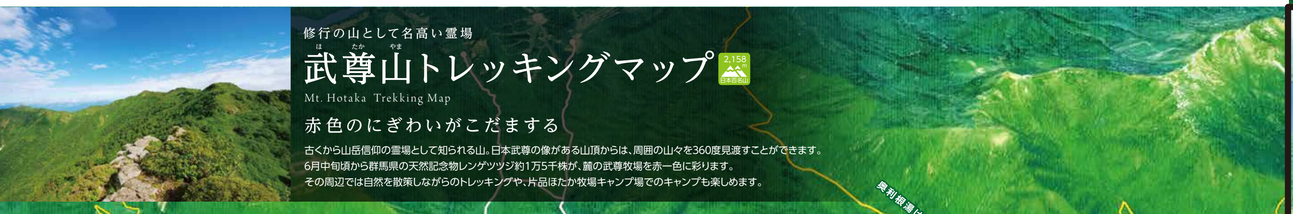
尾瀬国立公園の山小屋ガイド　下記の山小屋へのお問い合せは、シーズン期間中や期間外でつながりにくい場合がございます。その際は片品村観光協会までお気軽にお問い合せください。(Tel. 0278-58-3222)

山小屋の位置	山小屋名	連絡先
大清水	大清水小屋	0278-58-7370
	物見小屋	0278-58-7043
尾瀬沼	尾瀬沼山荘	0278-58-7311
	長蔵小屋	0278-58-7100
	尾瀬沼ヒュッテ	090-7064-4183
	尾瀬沼キャンプ場	080-5734-7272
見晴	第二長蔵小屋	0278-58-7100
	檜枝岐小屋	0278-58-7050

山小屋の位置	山小屋名	連絡先
見晴	弥四郎小屋	090-8316-2864
	尾瀬小屋	090-8921-8342
	燧小屋	090-9749-1319
	原の小屋	090-8921-8314
	見晴キャンプ場	090-9749-1319
赤田代	元湯山荘	0278-58-7311
	温泉小屋	080-6601-3394
ヨシッポ田代	東電小屋	0278-58-7311

山小屋の位置	山小屋名	連絡先
電宮	龍宮小屋	0278-58-7301
山ノ鼻	尾瀬ロッジ	0278-58-4158
	山の鼻小屋	0278-58-7411
	至仏山荘	0278-58-7311
	山ノ鼻キャンプ場	0278-58-7311
鳩待峠	鳩待山荘	0278-58-7311
御池	尾瀬御池ロッジ	090-7064-4184





修行の山として名高い霊場

武尊山トレッキングマップ

2,158

Mt. Hotaka Trekking Map

赤色のにぎわいがこだまする

古くから山岳信仰の霊場として知られる山。日本武尊の像がある山頂からは、周囲の山々を360度見渡すことができます。
6月中旬頃から群馬県の天然記念物レンゲツツジ約1万5千株が、麓の武尊牧場を赤一色に彩ります。
その周辺では自然を散策しながらのトレッキングや、片品ほたか牧場キャンプ場でのキャンプも楽しめます。

アクティブな登山を体験

日光白根山トレッキングマップ

2,578

Mt. Nikko-Shirane Trekking Map

可憐さに見とれていたら天空にいました

標高2,578mを誇る関東以北の最高峰。標高2,000mまでロープウェイで上り、眺望抜群な「天空の足湯」も楽しめます。
周囲を取り囲む山々との間には、五色沼や弥陀ヶ池といった美しい湖沼を目にすることができます。
白根山の名を冠した山野草の女王「シラネアオイ」など、日光白根山ロックガーデンの雄大な景観とのコントラストは絶妙です。